

第25回地域福祉実践研究セミナー

in 沖縄・うらそえ

ワークショップ1 報告

住民主体の地域包括ケアシステムを地域共生社会の視点で考える

実践報告者 : 島袋三華（西原町役場保健師）

新崎寿々香、下地紋子（西原町社会福祉協議会）

大城伸吾、有田恵子（小橋川自治会）

寄川孝之（BeNITY合同会社リハプライド西原）

アドバイザー : 島村聡（沖縄大学）、菱沼幹男（日本社会事業大学）

地域担当者 : 玉城十七美（西原町社会福祉協議会）

参加者の状況

▶ 会 場

西原町中央公民館 大ホール

▶ 参加者数 107名

【内訳】 一般参加：県外 19名
一般参加：県内 64名
（町外58名、町内6名）
事務局：18名
発表者：4名
アドバイザー：2名



目 的

誰もが支え合う地域共生社会の実現に向けて、行政から西原町の概要や構想案を提起し、それを推し進める社協の仕掛けづくり、地域住民（自治会）、団体、企業などの支え合いや見守り、社会貢献活動などの実践活動を報告いただき、町全体のつながりをイメージしていただきます。また、グループワークを通して良い点や課題点を整理し、「住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせる」町づくりに向けて、こんな事できたらいいな！の企画案を提供してもらいます。

実践報告から課題解決に向けて意見を出し合うことで、よりよい地域包括ケアシステムづくりについてみんなで考えていきましょう。

展開方法①

10:00 趣旨説明 島村聡（沖縄大学）

10:30 実践報告

報告者① 島袋三華（西原町役場健康支援課 保健師）

報告者② 下地紋子、新崎寿々香（西原町社協）

報告者③ 大城伸吾（小橋川自治会長）

有田恵子（民生委員）

報告者④ 寄川孝之（リハプライド・西原 代表）

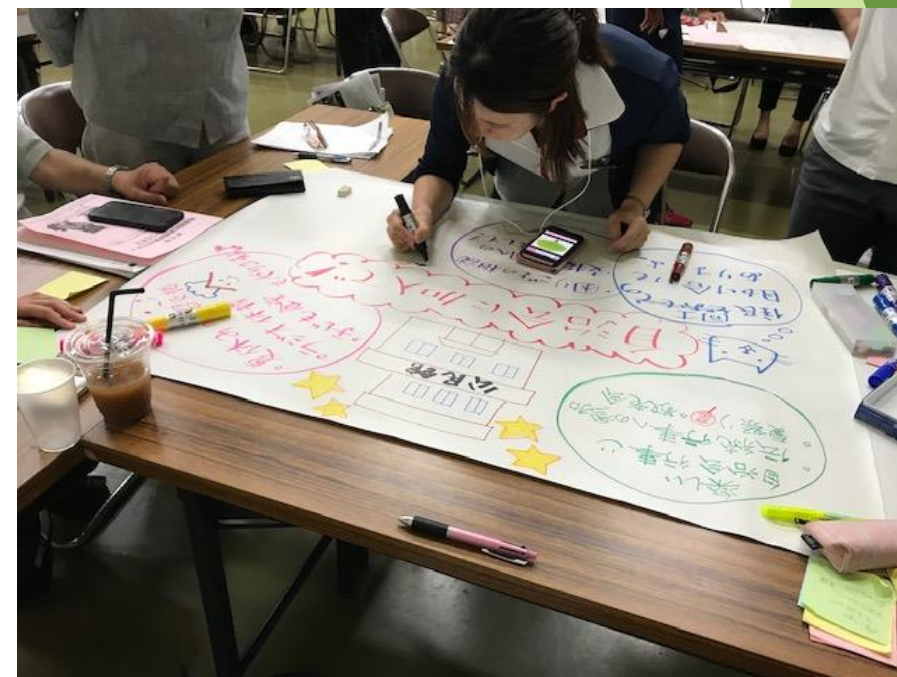


展開方法②

13:30 グループワーク 菱沼幹男（日本社会事業大学）
「SWOT分析によるプランニング」

16:30 まとめ

17:00 情報交換・交流会 西原町東崎ビーチ



考 察

どうしたら住民主体の地域福祉活動が
広がっていくか

西原町では・・・

【地域概況】 人口35008人 14393世帯 32行政区
高齢化率20.6% (6.1～39.3%)

西原町社協の正職員5名が32自治会を担当



3年間で31自治会に地域福祉推進会を設置

福祉マップづくり、相談窓口設置、
見守り隊活動、わんぱく広場、助っ人事業
地域創造事業など多様な活動を展開

なぜ短期間で地域福祉推進会を設置し、活動を広げられたのか？

西原町では・・・

地域福祉計画が策定されていない。

➡ 地域福祉計画への位置づけがきっかけではない。

町社協が地域の状況を踏まえて
自治会ごとの地域福祉推進会が
必要かつ実現可能と判断。
自治会に協力を呼びかける。

公民館
という拠点

自治会長、書記
という人材

結論・今後の展望

住民の力が生かされるきっかけづくり

適切なエリア設定による組織化

取り組みやすいプログラム提示

参加しやすい機会を作り誘う

汗と思いに基づく信頼関係

地域支援チームを組む

住民に丸投げしない

個々の生活実態を把握

地域づくりはきっかけづくり